



# ぴーちく ぱーちく



〒569-0082

大阪府高槻市明野町 10-15 ぷりんせす明野 1F

TEL : 072-672-1294

Mail : wffcj830@yahoo.co.jp

第47号

2015.3.25 発行

編集・発行 NPO法人自立支援センターたかつき

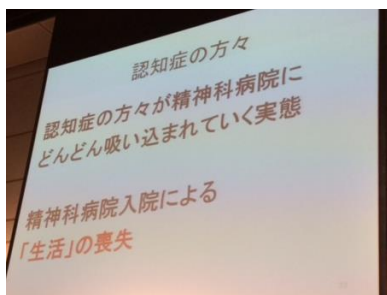
## いまこそ 今声をあげねば！！という集会ふたつに行ってきました～！

① 3月3日(火) 「病棟転換型居住系施設について考える院内集会」Part3

② 3月4日(水) オリンピック・パラリンピック競技施設のアクセシビリティ院内集会

両日とも、衆議院第一議員会館 1階 多目的ホールで開催され、参加者はほぼ満員250名ほどが目いっぱい入っていました！

① 「病棟転換型居住系施設について考える院内集会」(杏林大学教授 長谷川利夫先生)



精神科病院の経営を維持するために、障がい者や高齢者が必要なの???

病棟転換型施設は、障害者権利条約第19条で、「居住地の選択、誰とどこで生活するかを選択する機会を有すること並びに、特定の生活施設で生活する義務を負わない」とされている「障害があろうとなかろうと、人として平等である」という基本的な人権に真っ向から反するものであるということが訴えられました。それから、認知症の人が精神病院の空きベッドを埋めるのに入院させられる傾向があり、内閣府障害者政策委員会委員、敦賀温泉病院 上野秀樹医師より、西東京市にある認知証の方のグループホームのようすが紹介されました。世界的にみると、認知症の人は地域で

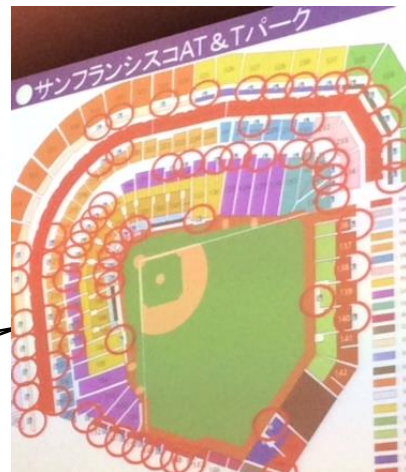
ケアするという流れであるが、日本だけが、精神科病院に入院する認知症患者数が増えている。そして、在院日数も、平均で900～1000日と長くなる異常事態がつづいているのです。印象的だったのは、精神の分野の話なのに、身体障がいの当事者や、車いすにのった参加者の姿が多くみられたことでした。施設化の流れは食い止めないと総合支援法になった時、身体の方にも波及してほしくないとの危機感があるのだと思います。

② IPCアクセシビリティガイドからみた日本の競技施設 (東洋大学ライフデザイン学部 川内美彦先生)

国際パラリンピック委員会(IPC)アクセシビリティガイドにもとづいて、アメリカと日本の、競技施設の車椅子席の比較がされていました。国際基準として、車椅子席と、介助者が横に並ぶ位置の席の面積、通路幅の面積の規定が

あって、「コンパニオンシート」という考え方にもとづいて、介助者

これはサンフランシスコの競技場。○がついてるのが、ぜ～んぶ車いす席だよ!!



と当事者は、横並びにすわるように設計されています。そして、アメリカの野球場などでは、どのラックのシートにもそれぞれに、車椅子席があるのです。会場内に数席ある日本とは、圧倒的に数の上でも違い、多数用意されているのです。「車いす席がある」だけで喜んでいて日本のレベルとはまったく違うのに、会場内からは、ため息やら、驚きの声やら・・・いろいろな声が出ていました。「サイトライン」も、規定されていて、これは、車椅子に座っている位置から競技がちゃんと見えるように視線を確保することで、基準として記載されています。もちろん、前の人たちが立ち上がった場合にも、車椅子観戦者から見えるようにするもので、立ち上がった人、柵、手すり、その他の障害物が、視線を遮らないように決められていました。他は、トイレや会場への経路についても、細かく規定されています。新しい建造物がどんどん出来ていきますが、こういう基準も知っておいて、ぜひ声を出して、使いやすいものができてほしいですね。(さのう)



境谷氏の 昔こんなことがあったんじゃ～！ユニバー その2



「車いすと識字」の巻

昔、堺に入院しとった。39歳の時。今(2007年当時)67やから28年前や。それから電動に乗り出した。それまで、手動も電動もなかった。家ん中においてござござござとった。ほんで40になって小学校行った。6年生に2年間行った。ほんで先生が学籍取ったらどうや言うたけど、学籍は取られへんかった。学籍なしで行とった。ほんで大きく毎日新聞に載ったんや。学校へ行とると写真とデカデカと出た。社会教育課へ要望書持ってって、識字教育(※)になった。識字教育もなかなかうんと言えへんかった。ほんで「僕だけとちがう。学校行ってへん人おるで」言うた。なかなか課長がうんと言わへんかった。福祉課と相談する言うた。ほんなら、高槻市で400何人学校行ってへん人があるて分



かった。そのうち、250人くらいは死んでしもてた。ほんで130人ほどは、もうやる気ない人やった。やる気のある人が4人出てきた。それがMさんとKさんとSさんとIという人や。今は、SさんとKさんがぬけて、Fいう人が出てきた。今、けやきの里に入ってる人。

それでやっと、ひらがなカタカナ覚えた。Mさんも境谷さんのおかげやってよいうてた。

社会教育課はその時、M課長やった。「あんたの熱意にはホした。わかった。」言うてくれた。自分だけ違うから。人のためや。何も言えへんかったら、何も制度できへん。今の若い人は、分かってへん。今の若い人は、普通学校行かれへんかったら、養護学校でも行け言われるけど、な。(次号は「制度は一日にしてならずの巻」)

※ 識字教育・・・字の読み書きを習う教育のこと



# シリーズ わたし じりつせいかつ シリーズ 私の自立生活 (とうとう終盤にかかった特大号♥斎藤雅子さん)

## じりつ ねん ふ かえ わたし せいかつし しょう しゃもんだい 自立して34年を振り返って～私の生活史から障がい者問題へ (4)～

＊ もう一つの私の一生を通じて、かわりがあるであろうライフワークとして、沢田研二さんがいます。私が14歳の時に初めて好きになった人です。彼は大スターで私はファンという立場ですが、彼の影響力は私の生活を変えるまでにいたっています。30年以上この燃える想いは変わっていません。20歳からコンサートには年に2,3回は行っていましたが、単独生活してからは回数が増え、電動車椅子に乗り出してからは介助無しで一人で神戸や京都や大阪に行っていました。

＊ 30歳後半から同人誌を知ってその中にファンの広場というファン同士の投稿欄がありました。その読者のファンのひとわたしおなたかつきひとみつめてその人に連絡を取ったのがきっかけで文通が始まりました。その人と大阪や神戸に行くようになり、とうとう東京へ遠征することになりました。それから、どんどんファンの輪が広がっていきました。パソコンのメーリングクラブにも入っていろいろな考えのファンの人と友達になっていきました。そして、一人で東京や広島や、岡山にも一人で新幹線に乗って日帰りで行っています。名古屋で野宿したのが印象に残っています。東京から寝台車で夜明けに姫路に着き大阪まで帰ったこともありました。トイレ介助が要るのですが、コンサート会場へ行くとファンの女性に頼んでいます。食事は少し手伝ってもらったり食べれる物を選んでどうにか自分でします。これからもどんどんと追っかけ人生も楽しみたいとおもっています。

＊ 41歳で、ピアカウンセリングと出会い、これは私の一生の仕事だと思いま

した。元々人の話を聞くのが好きなので、それがきっかけだと思います。ピアカウンセリングの勉強をしていく中で自分の心の中も見えてきました。新しい人の出会いも生まれ、ますます自分がパワフルに動くことができるんだという自信も新たに生まれてきました。今後も同じ仲間=障害者の自立支援をしていこうと思っています。

＊ ピアカウンセリングとは、同じ背景や同じ境遇にあるもの同士という意味です。心の悩みやしんどさはそれがそのまま肉体的に響いてきます。ピアカンで自分の心のしんどさや、お互いに言いたいことを聞きあうことによって、心のしんどさを吐き出すこと=解消させることが大切になってきます。

ヘルパーさんの仕事においても、利用者の心を和らげ、真のニーズを聞き出してその利用者にとって心地よい介助を受けてもらうことが大切です。威圧的になったり、言いにくい環境を作らないように心がけましょう。常に利用者も自分と同じ傷つきやすい人間であるということを頭に入れておきましょう。



きょう げんき なまーさん。じかい さいしゅうごう 今日元気なまーさん。次回は最終号で～す！

# 重度訪問介護従業者養成研修が無事終了しました～！



重度訪問介護研修が終了しました！！

3月14日は、重度訪問介護の外出実習を茨木で行いました。天候が心配されましたが、受講生と当事者は和気藹々とした雰囲気の中で楽しく

実習を行うことができました！

仲田班は茨木商店街の和食屋さんで食事をしていました。すると、椿本班が合流しワイワイと盛り上がり、お店の方も快く受け入れてくださいました！！

気持ちの良い時間を過ごすことができ、改めて、当事者は積極的に外に出なあかなあーと感じました。今回の重度訪問介護研修では、介助に入って欲しいなと思う人がたくさんいました。また、学生だけでなく色々な人が受講していて楽しかったです。出会った人とのご縁を大切に生活していこうと思います。(仲田 吾)

## ◆ 重度訪問制度の勉強会報告だよ ◆

3月16日勉強会がありました。話の内容は、区分認定のことでした。藤田くんに、区分認定の事を、再度わかりやすく話をしてもらいました。区分認定の項目が、106項目から80項目に減っていました(※)。私は、調査の時にはちゃんと言おうと想いました。みんな、自分の事と思ってしっかり勉強していました。(田岡香織)

(※) 昨年4月から障害程度区分認定が、支援区分認定と名前が変わり調査項目も変わりました。特に大きく変わったのは、環境によって「できたりできなかったりする」場合には、「できない」場合が基準になることです。「家ではできるけど外では無理」などは、ちゃんと伝えましょうね。



ごめん 御免なさい m(\_ \_)m

例年、2月に通信で呼びかけるお花見ですが、ヘルパー研修のため前号に載せられませんでした。急な日程ですが4月4日(土)に扇町公園にてスタッフや有志でお花見したいと思います。(別紙チラシあり。参加集約などはしません。) 4月4日(土)10時半阪急高槻市集合、12時はなみすたーの飲み物食べ物各自持参(差し入れ大歓迎)。お花見スタート。飲み物食べ物各自持参(差し入れ大歓迎)。よろしければご参加ください。現地で途中参加も自由です！



## 4月の自立フォーラムの予定

☆ 毎週木曜日はクラフトの日！

カワイイ手作り品作り、お気軽に体験しに来て下さい♪

☆ セラピードッグも来ています！ 13時半～無料です！！

訓練を受けた犬達とゲームをしたり、散歩したり、自然と心と体のリハビリに。

4月10日、24日金曜日開催予定！！ワンちゃんも待ってます。きてネ！

☆ 「ミカ@マーケット」は4月7日(火)です(フリーマーケットやります☆)

コーヒー1杯、100円で～す！

4月14日火曜日は映画鑑賞の日で～す^^ お待ちしてま～す♪♪

お問い合わせは自立フォーラムまで 072-672-8532